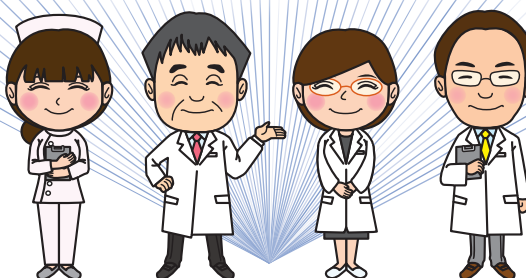


最高水準の設備と専門チームが、 あなたの治療にあたります。



放射線治療は形態や機能を温存することができ、さらに全身への影響が少ない低侵襲であることが最大のメリットです。放射線治療は、特に高齢や他の病気のために手術や化学療法が行えない患者さんに対しても、がん治療を行うことができます。

広島がん高度放射線治療センター・HIPRAC(ハイブラック)は、広島市内4基幹病院の連携により、専門性の高い医師とスタッフ、最新の治療装置を導入。生活スタイルを変えずに通院しながらがんを治す、身体的にも精神的にも負担の少ない高度な放射線治療を提供します。

高精度放射線治療装置 TrueBeam STx



当センターが広島県内で初めて導入した米国バリアンメディカルシステムズ社製の最新鋭放射線治療装置を使用します。

<治療の一例>

照射前

照射2ヶ月後



病変部がなくなっています。

主治医の
メッセージ



副センター長 **権丈 雅浩**
放射線治療専門医／専門医歴 19年

ひとりひとりの患者さんにあわせた、もっともよい治療方法を考えます。
できるだけ体に負担をかけずに治るように、優しい治療を心がけています。

※HIPRACは、平成28年11月、東アジアで初めて、世界水準の高精度放射線治療(定位照射)を行う施設として、国際的な認定機関から認定を受けています。



●肺がんに対する定位放射線治療

〈治療の概要〉

病巣部に集中して高いエネルギーのX線を照射します。呼吸により病巣が大きく移動するときは、15～20秒の息止めを数回行いながら照射します。十分に練習をしてから治療を行います。息止めが難しい場合には、呼吸しながら照射する方法(動体追尾照射)も検討します。

動体追尾照射とは? 動く病変を追いかけて精密に放射線を照射する治療方法です。

- 1日30～40分程度、4～8日程度の通院治療です ●普段通りの生活を送っていただけます
- ※腫瘍の大きさ等により、日数は変わることがあります

〈治療の基本的な流れ〉

初診日



治療の説明の他、照射位置を安定させるための固定具を作成します。

治療日



1回の治療時間は約30～40分、放射線の照射時間は2分弱で痛みや熱さは感じません。

治療後



月に1回程度(約30分)の経過診察を行います。※照射方法・病状によって異なります。



〈副作用について〉

- 治療が終わって数カ月から半年して肺炎(放射線肺臓炎)が起きることがあります。咳や微熱が出るがありますが、入院が必要となることは稀です。
- 体調変化時には、紹介元施設や関係医療機関と連携して対応します。

〈治療費〉

- 健康保険が適用されます
 - 照射回数にかかわらず費用は約70万円です
 - 高額療養費制度により、自己負担額は月額8千円から20万円程度です
- ※自己負担額はお手持ちの健康保険の種類・所得で異なります

